

問1 生活必需品などの消費税率を低く抑えることで、所得の低い人の負担を減らそうとする制度を何という？

問2 歳入が足りない場合に、国が将来の負担として発行する借金を何という？

問3 国に納める税金と、地方公共団体に納める税金の二つに分けられるうち、国に納める税金を何という？

問4 所得が低い人ほど税負担の割合が重くなってしまうという、消費税の主な課題とされる性質を何という？

問5 国の歳出のうち、過去の借金の返済や利子の支払いのためにあてられるお金を何という？

問6 所得が高いほど税率が高くなるように設定されており、税金によって所得の格差を縮小する役割を担っている制度を何という？

問7 国の歳出の中で、高齢化に伴って年々増加しており、最も大きな割合を占めている支出を何という？

問8 地域における健康相談や、感染症予防、保健指導などを行う行政機関を何という？

問9 日本の社会保障制度を構成する4つの柱のうち、高齢者や障がい者、児童などを支援する福祉サービスを何という？

問10 国が1年間に必要な経費をまかなうための収入のうち、最も大きな割合を占めるものは何という？

問11 国の1年間の収入と支出の見積もりのことを何という？

問12 国民年金などの社会保障の理念の根拠となっており、日本国憲法第25条が定める「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を何という？

問13 企業が経済活動で得た利益に対して課される税金を何という？

問14 政府が調整を行うことで、企業の投資意欲や国の財政維持に影響を与える、企業に対して課される税の割合を何という？

問15 納税者と税を負担する人が同一であり、個人の収入に応じて直接課される税を何という？

問16 日本国憲法第25条で保障されている、すべての国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を何という？

問17 日本の社会保障制度は、社会保険、公的扶助、社会福祉、あともう一つは何によって構成されているか？

問18 伝染病の発生や蔓延を防ぐために定められた、保健・医療に関する重要な法律を何という？

問19 企業の利益に対して課される税金で、直接税に含まれるものを何という？

問20 公共事業などの財源とするために発行される国債を何という？

- 問1 所得が高いほど税率が高くなるように設定されており、税金によって所得の格差を縮小する役割を担っている制度を何という？
- 問2 介護保険の財源は、利用者の負担と保険料のほかに、国や自治体からの何によって賄われているか？
- 問3 所得が低い人ほど税負担の割合が重くなってしまうという、消費税の主な課題とされる性質を何という？
- 問4 伝染病の発生や蔓延を防ぐために定められた、保健・医療に関する重要な法律を何という？
- 問5 所得が増えるほど税率が高くなる累進課税が、最も代表的に採用されている税金は？
- 問6 生活に困窮する人が自立できるように、国や自治体が最低限の生活を保障する制度を何という？
- 問7 国民年金などの社会保障の理念の根拠となっており、日本国憲法第25条が定める「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を何という？
- 問8 財政の機能として、高所得者から集めた税を低所得者の支援に回すことで、所得の格差を縮小させるはたらきを何という？
- 問9 国の1年間の収入と支出の見積もりのことを何という？
- 問10 歳入が足りない場合に、国が将来の負担として発行する借金を何という？
- 問11 地域における健康相談や、感染症予防、保健指導などを行う行政機関を何という？
- 問12 日本国憲法第30条において、国民が法律の定めるところにより負うこととされている、税金を納める義務を何という？
- 問13 国に納められ、国の財源として使われる税金を、地方税に対して何という？
- 問14 累進課税などの税制を通じ、経済的な格差を縮小させようとする役割を何という？
- 問15 国が1年間に必要な経費をまかなうための収入のうち、最も大きな割合を占めるものは何という？
- 問16 現役世代が納めた保険料を、その時の高齢者の年金給付に充てる方式を何という？
- 問17 国に納める税金と、地方公共団体に納める税金の二つに分けられるうち、国に納める税金を何という？
- 問18 日本の社会保障制度を構成する4つの柱のうち、高齢者や障がい者、児童などを支援する福祉サービスを何という？
- 問19 社会保険を運営するために投入される、税金から支出される費用のことを何という？
- 問20 公的年金制度において、老後の生活を支えるための保険を何という？
- 問21 日本国憲法第25条で保障されている、すべての国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を何という？

- 問1 所得が増えるほど税率が高くなる累進課税が、最も代表的に採用されている税金は？
- 問2 国の1年間の収入と支出の見積もりのことを何という？
- 問3 所得が高いほど税率が高くなるように設定されており、税金によって所得の格差を縮小する役割を担っている制度を何という？
- 問4 公的年金制度において、老後の生活を支えるための保険を何という？
- 問5 現役世代が納めた保険料を、その時の高齢者の年金給付に充てる方式を何という？
- 問6 国に納める税金と、地方公共団体に納める税金の二つに分けられるうち、国に納める税金を何という？
- 問7 社会保険を運営するために投入される、税金から支出される費用のことを何という？
- 問8 日本国憲法第25条で保障されている、すべての国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を何という？
- 問9 国の税収などが不足する際に、国が発行して資金を調達する証書を何という？
- 問10 政府が調整を行うことで、企業の投資意欲や国の財政維持に影響を与える、企業に対して課される税の割合を何という？
- 問11 日本国憲法第30条において、国民が法律の定めるところにより負うこととされている、税金を納める義務を何という？
- 問12 地域における健康相談や、感染症予防、保健指導などを行う行政機関を何という？
- 問13 日本の社会保障制度を構成する4つの柱のうち、高齢者や障がい者、児童などを支援する福祉サービスを何という？
- 問14 国の歳出のうち、過去の借金の返済や利子の支払いのためにあてられるお金を何という？
- 問15 企業の利益に対して課される税金で、直接税に含まれるものを何という？
- 問16 公共事業などの財源とするために発行される国債を何という？
- 問17 生活必需品などの消費税率を低く抑えることで、所得の低い人の負担を減らそうとする制度を何という？
- 問18 所得が低い人ほど税負担の割合が重くなってしまうという、消費税の主な課題とされる性質を何という？
- 問19 生活に困窮する人が自立できるように、国や自治体が最低限の生活を保障する制度を何という？
- 問20 国が1年間に必要な経費をまかなうための収入のうち、最も大きな割合を占めるものは何という？
- 問21 日本の社会保障制度は、社会保険、公的扶助、社会福祉、あともう一つは何によって構成されているか？

- 問1 公的年金制度において、老後の生活を支えるための保険を何という？
- 問2 社会保険を運営するために投入される、税金から支出される費用のことを何という？
- 問3 国に納められ、国の財源として使われる税金を、地方税に対して何という？
- 問4 生活必需品などの消費税率を低く抑えることで、所得の低い人の負担を減らそうとする制度を何という？
- 問5 個人の所得に対して課される税金において、所得額が多いほど高い税率を適用する課税方式を何という？
- 問6 国の1年間の収入と支出の見積もりのことを何という？
- 問7 所得が低い人ほど税負担の割合が重くなってしまうという、消費税の主な課題とされる性質を何という？
- 問8 国の歳入が歳出に足りないとき、国が資金を借り入れるために発行する証書を何という？
- 問9 日本の社会保障制度は、社会保険、公的扶助、社会福祉、あともう一つは何によって構成されているか？
- 問10 累進課税などの税制を通じ、経済的な格差を縮小させようとする役割を何という？
- 問11 国の税収などが不足する際に、国が発行して資金を調達する証書を何という？
- 問12 介護保険の財源は、利用者の負担と保険料のほかに、国や自治体からの何によって賄われているか？
- 問13 企業の利益に対して課される税金で、直接税に含まれるものを何という？
- 問14 伝染病の発生や蔓延を防ぐために定められた、保健・医療に関する重要な法律を何という？
- 問15 納税者自身が税額を計算し、国に届け出て納める制度を何という？
- 問16 日本国憲法第30条において、国民が法律の定めるところにより負うこととされている、税金を納める義務を何という？
- 問17 納税者と税を負担する人が同一であり、個人の収入に応じて直接課される税を何という？
- 問18 生活に困窮する人が自立できるように、国や自治体が最低限の生活を保障する制度を何という？
- 問19 国民年金などの社会保障の理念の根拠となっており、日本国憲法第25条が定める「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を何という？
- 問20 財政の機能として、高所得者から集めた税を低所得者の支援に回すことで、所得の格差を縮小させるはたらきを何という？
- 問21 公共事業などの財源とするために発行される国債を何という？

- 問1 政府が作成した予算案を審議し、最終的に議決する機関を何という？
- 問2 歳入が足りない場合に、国が将来の負担として発行する借金を何という？
- 問3 所得が増えるほど税率が高くなる累進課税が、最も代表的に採用されている税金は？
- 問4 地域における健康相談や、感染症予防、保健指導などを行う行政機関を何という？
- 問5 企業の利益に対して課される税金で、直接税に含まれるものを何という？
- 問6 国の歳入が歳出に足りないとき、国が資金を借り入れるために発行する証書を何という？
- 問7 公的年金制度において、老後の生活を支えるための保険を何という？
- 問8 国が1年間に必要な経費をまかなうための収入のうち、最も大きな割合を占めるものは何という？
- 問9 所得が高いほど税率が高くなるように設定されており、税金によって所得の格差を縮小する役割を担っている制度を何という？
- 問10 現役世代が納めた保険料を、その時の高齢者の年金給付に充てる方式を何という？
- 問11 社会保険を運営するために投入される、税金から支出される費用のことを何という？
- 問12 累進課税などの税制を通じ、経済的な格差を縮小させようとする役割を何という？
- 問13 納税者自身が税額を計算し、国に届け出て納める制度を何という？
- 問14 所得が低い人ほど税負担の割合が重くなってしまうという、消費税の主な課題とされる性質を何という？
- 問15 納税者と税を負担する人が同一であり、個人の収入に応じて直接課される税を何という？
- 問16 国の歳出の中で、高齢化に伴って年々増加しており、最も大きな割合を占めている支出を何という？
- 問17 財政の機能として、高所得者から集めた税を低所得者の支援に回すことで、所得の格差を縮小させるはたらきを何という？
- 問18 生活に困窮する人が自立できるように、国や自治体が最低限の生活を保障する制度を何という？
- 問19 国の税収などが不足する際に、国が発行して資金を調達する証書を何という？
- 問20 日本の社会保障制度を構成する4つの柱のうち、高齢者や障がい者、児童などを支援する福祉サービスを何という？
- 問21 政府が調整を行うことで、企業の投資意欲や国の財政維持に影響を与える、企業に対して課される税の割合を何という？
- 問22 国に納められ、国の財源として使われる税金を、地方税に対して何という？